

# 2021年9月期第3四半期決算

---

**MRI** 三菱総合研究所

2021年8月2日

**50<sup>th</sup>**  
*Anniversary*

この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、  
投資勧誘を目的として作成したものではありません。

**1** 2021年9月期第3四半期決算

**2** 2021年9月期業績予想

**3** トピックス

## 2021年9月期 第3四半期のまとめ

- 「中計2023」に沿った好調維持、売上高・営業利益ともに3Q累計で過去最高
- 好調を反映し、業績予想上方修正(⇒P13~14)

**売上高: 804億円 前同比 +98.1億円**

- シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC): 官公庁がけん引、大幅増収(+49億)
- ITサービス(ITS): 金融・カード伸長で大幅増収(+49億)

**経常利益: 73.6億円 前同比  $\Delta$ 6.7億円 実力+6.5億円**

- 実力ベースでは+6.5億 (前期一時的要因(持分法投資利益計上) 約13億)

**純利益: 50.4億円 前同比  $\Delta$ 21.5億円 実力+4.4億円**

- 実力ベースでは+4.4億 (前期一時的要因(特別利益計上) 約27億)

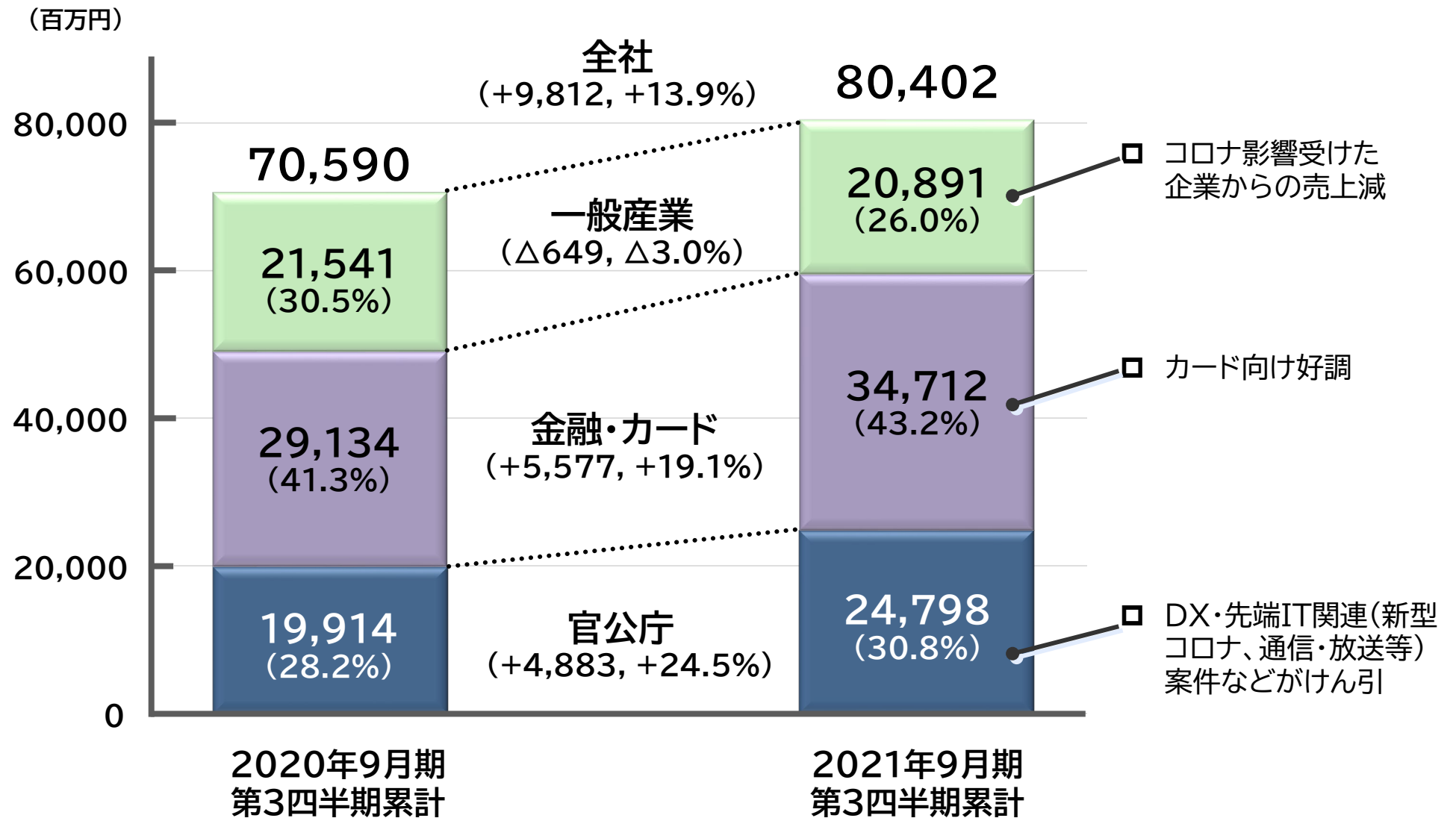
## 第3四半期連結決算 <前同比>

(百万円)

	2020年9月期 3Q累計	2021年9月期 3Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	70,590	80,402	+9,812	+13.9%
売上総利益	16,799	18,986	+2,187	+13.0%
売上総利益率	23.8%	23.6%	△0.2P	
販売費及び一般管理費	10,903	12,345	+1,442	+13.2%
営業利益	5,896	6,641	+745	+12.6%
営業利益率	8.4%	8.3%	△0.1P	
経常利益	8,043	7,364	△679※	△8.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,199	5,046	△2,152※	△29.9%
1株当たり四半期純利益(円)	443.01	310.80	△132.21	

※前期一時的要因を除いた実力ベースでは、経常利益前同比+654百万円、純利益+448百万円

# 顧客業種別売上高 <前同比>



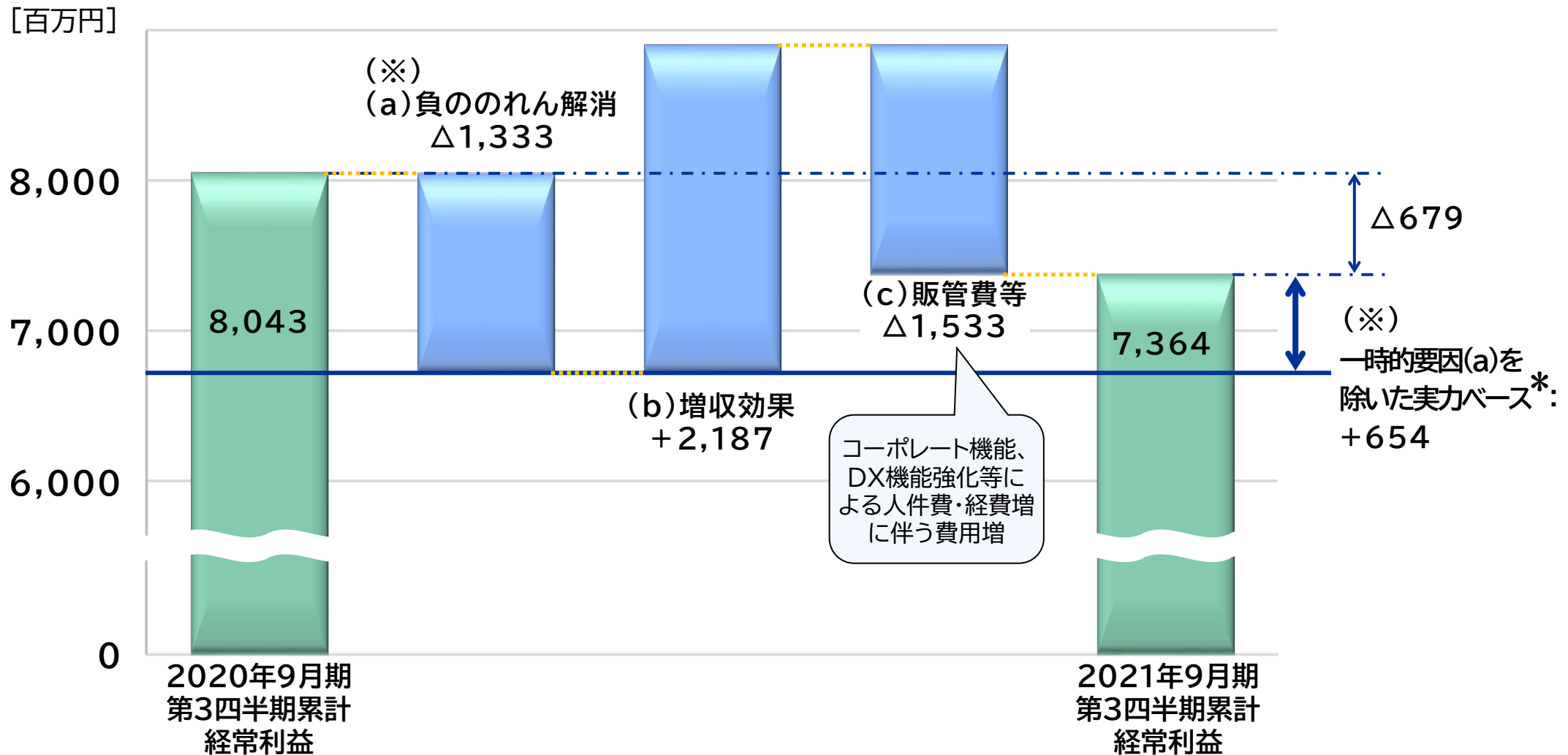
## セグメント別・顧客業種別売上高 <前同比>

(百万円)

		2020年9月期 3Q累計	2021年9月期 3Q累計	前同比	
				増減額	増減率
TTC	官公庁	19,513	24,343	+4,830	+24.8%
	金融・カード	2,022	2,540	+518	+25.6%
	一般産業	7,292	6,851	△441	△6.1%
	TTC 計	28,828	33,735	+4,906	+17.0%
ITS	官公庁	401	455	+53	+13.4%
	金融・カード	27,112	32,172	+5,059	+18.7%
	一般産業	14,248	14,040	△207	△1.5%
	ITS 計	41,762	46,667	+4,905	+11.7%

## 経常利益の変動要因 <前同比>

- 増収効果(b)で経費増(c)を吸収し、実力ベースでは6億増\*



# シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

(百万円)

	2020年9月期 3Q累計	2021年9月期 3Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	28,828	33,735	+4,906	+17.0%
営業利益	3,969	4,396	+426	+10.7%
営業利益率	13.8%	13.0%	△0.8P	
経常利益 (実力ベース)	5,912 (4,579)	4,944	△968 (+364)*	△16.4% (+7.9%)
受注高	29,005	42,527	+13,521	+46.6%
受注残高 (内 来期繰越)	26,483 (20,526)	39,887 (33,384)	+13,403 (+12,858)	+50.6% (+62.6%)

## 主なポイント

- 官公庁向け大幅増、金融向けコンサル案件増で増収
- 営業利益は過去最高、\*経常利益は実力ベースで+3.6億（除く前期一時的利益13億円）
- 官公庁案件(DX・先端IT:新型コロナ、5G関連等)がけん引し、受注高・受注残高とも過去最高水準
- 受注残高には来期以降売上の繰越分333億(前同比+128億)を含む



# ITサービス(ITS)

(百万円)

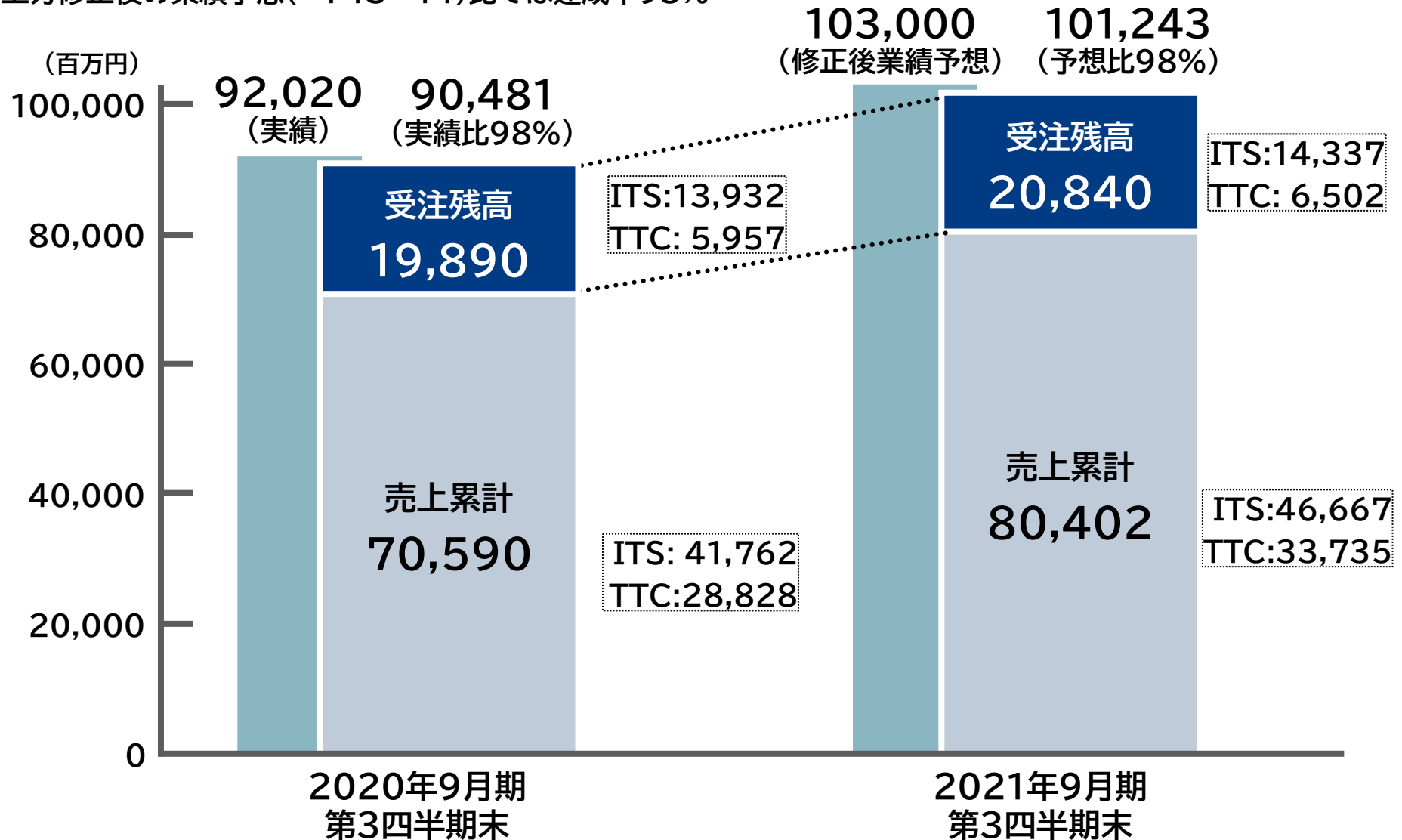
	2020年9月期 3Q累計	2021年9月期 3Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	41,762	46,667	+4,905	+11.7%
営業利益	1,920	2,245	+325	+16.9%
営業利益率	4.6%	4.8%	+0.2P	
経常利益	2,125	2,419	+294	+13.9%
受注高	43,091	50,356	+7,265	+16.9%
受注残高 (内 来期繰越)	41,703 (27,770)	46,125 (31,788)	+4,422 (+4,017)	+10.6% (+14.5%)

## 主なポイント

- 金融・カード分野の伸長により、増収・増益
- 営業利益は過去最高、DX等で先行投資行いながらも利益率維持
- 金融・カード分野の受注好調がけん引し、受注高・受注残高とも増加
- 受注残高には来期以降売上の繰越分317億(前同比+40億)を含む

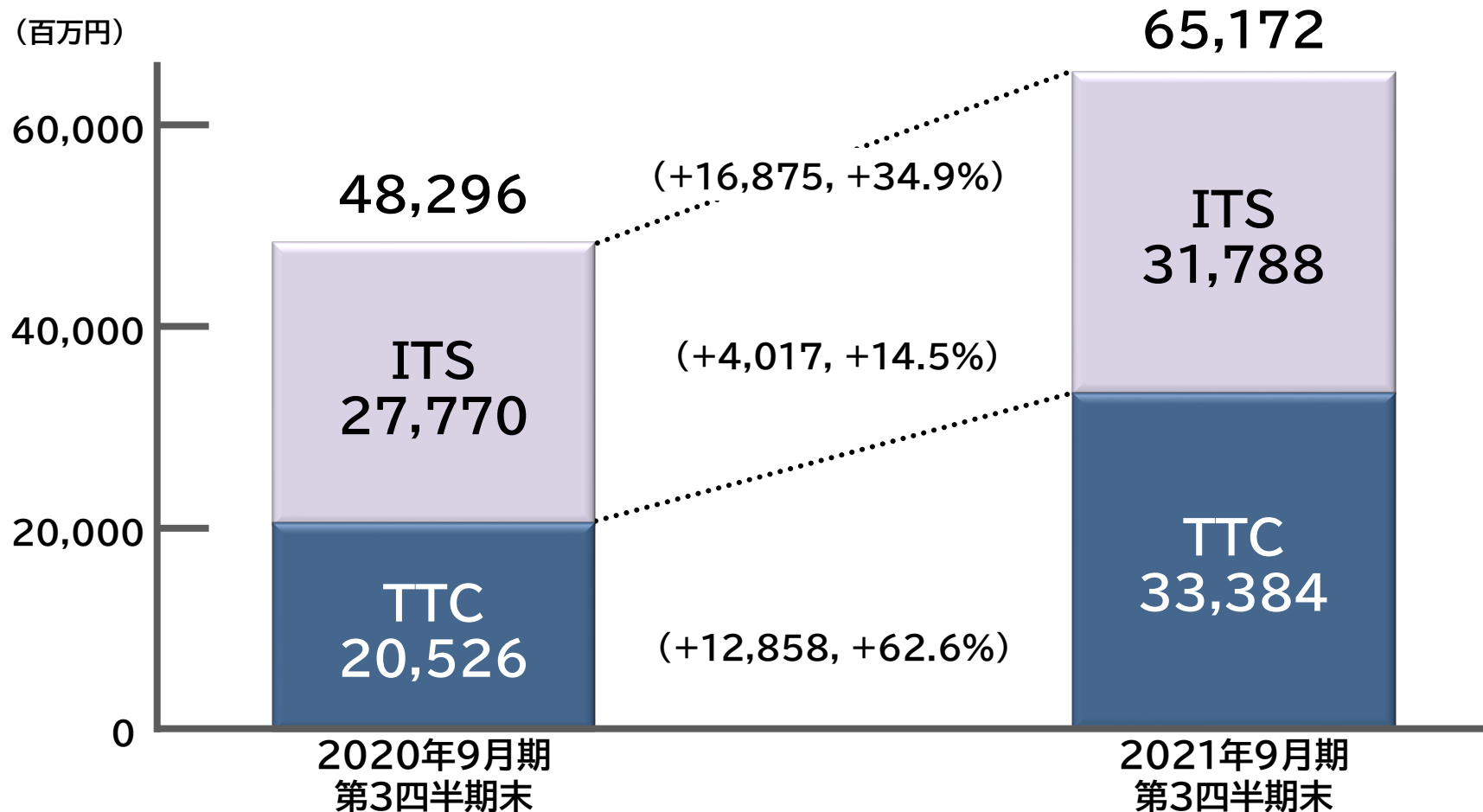
## 受注残高(今期売上)

- 今期業績予想(期初:970億)の104%を確保(売上累計+今期売上分の受注残高)
- 上方修正後の業績予想(⇒P13~14)比では達成率98%



## 受注残高(来期繰越)

- 「中計2023」に沿った社会課題解決、DX案件などで着実な成果、来期を展望し順調な展開
- 大型案件(ITSのシステム関連、TTCのコロナ、5G関連業務など)の受注が積み上がり、繰越受注残高は前同比+168億



- 1 2021年9月期第3四半期決算
- 2 2021年9月期業績予想
- 3 トピックス

## 2021年9月期 連結業績予想

期初予想から上方修正

### 通期業績予想を売上・利益とも上方修正(⇒P14)

- 売上: 970億 ⇒ 1,030億 (+60億)
- 営業利益: 66億 ⇒ 70億 (+4億)
- 経常利益: 75億 ⇒ 78億 (+3億)
- 当期純利益: 48億 ⇒ 50億 (+2億)

### 新型コロナウイルスによる業績影響

- 新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言等による業績影響は限定的
- 一部民間(運輸・不動産等)で影響顕在化した(⇒P5)が、他業種・企業の受注・売上で打ち返し、官民ともにポストコロナ関連等の引き合いや受注が好調

## 2021年9月期 連結業績予想

期初予想から上方修正
------------

(百万円)

	2020年 9月期実績	2021年 9月期予想	前期比		期初予想	期初 予想比
			増減額	増減率		
売上高	92,020	103,000	+10,980	+11.9%	97,000	+6,000
シンクタンク・コンサルティング サービス	34,581	40,000	+5,419	+15.7%	36,000	+4,000
ITサービス	57,438	63,000	+5,562	+9.7%	61,000	+2,000
営業利益	6,231	7,000	+769	+12.3%	6,600	+400
営業利益率	6.8%	6.8%	+0.0P		6.8%	△0.0P
経常利益 (前期の一時的要因除く実力ベース)	8,387 (7,000)	7,800	△587 (+800)	△7.0% (+11.4%)	7,500	+300
シンクタンク・コンサルティング サービス	5,283	4,300	△983	△18.6%	4,100	+200
ITサービス	3,092	3,500	+408	+13.2%	3,400	+100
親会社株主に帰属する当期純利益	7,096	5,000	△2,096	△29.5%	4,800	+200
1株当たり当期純利益(円)	436.64	308.04	△128.60		295.30	+12.74

- 1 2021年9月期第3四半期決算
- 2 2021年9月期業績予想
- 3 トピックス

## トピックス

### COVID-19 AI・シミュレーションプロジェクト(内閣官房)

AIなどの技術を活用したシミュレーションにより、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染防止と経済活動の両立を図る目的。当社は本プロジェクトに参画、成果を発表。

- 医療および検査リソースの最適化シミュレーション  
-※詳細は、[COVID-19 AI・シミュレーションプロジェクトのページ](#)参照。

### DX事業の推進を加速

埼玉県DX実行支援業務を受注

- MRI・DCSの共同体制で受注実績

「DX認定制度」における認定取得

- 経済産業省が定める「DX認定制度」に基づく、DX認定事業者として認定を取得(2021/5/1付)
- 7月までのDX認定企業は計141社



公式サイトで当社[DX事業コンセプト](#)を紹介(サイト参照)



## トピックス:最近のリリース

日付	タイトル
【MRI】	
2021.7.12	<u>三菱自動車ファイナンスに審査AIサービスを提供開始</u>
2021.6.30	<u>企画業務DXサービスを順次提供</u>
2021.6.30	<u>エクセルギー・パワー・システムズ社に追加出資</u>
2021.6.1	<u>ビッグデータ解析プラットフォーム「ForePaaS」を提供開始</u>
2021.5.17	<u>AIスタッフ総合案内サービス、岐阜県と県内市町村40団体で共同利用</u>
2021.5.11	<u>英国BVG Associatesと覚書を締結</u>
2021.5.10	<u>分散型エネルギーリソース運用支援サービスを開始</u>
【DCS】	
2021.5.20	<u>NTTデータ イントラマートとMRVSがコンサルティングパートナー契約を締結～業務要件定義を重視したシステム開発でDX業務改革を推進～</u>

## 参考)

### 株式売出しを実施(2021年5月28日発表、6月15日受渡期日)

- 三菱グループ12社保有の1,756,600株\*(発行済株式数の約1割)を売出し  
(\*オーバーアロットメント分20万株含む)
  - 目的は、株主層の拡大と流動性の向上
  - 目的を十分に達成
    - 売出配分先は、個人投資家・機関投資家あわせ計約4,000件
    - 月平均売買高は、売出し前の約55万株\*から7月は100万株超に拡大
- \*2020年10月～21年4月の月平均

※なお、本件売出しは新株発行等ではなく、発行済株式数は変わりません。  
したがって、いわゆる「希薄化」は生じておらず、理論的には株価に影響しないものです。

## 将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

E-mail : [ir-info@ml.mri.co.jp](mailto:ir-info@ml.mri.co.jp)

URL : [www.mri.co.jp/](http://www.mri.co.jp/)

未来を問い続け、変革を先駆ける

**MRI** 三菱総合研究所